

# SHOW HEY シネマールーム

★★★★★

愛しの故郷 (我和我的家乡 / My People, My Homeland)  
第2話 空から UFO が! (天上掉下个 UFO)

2020 年 / 中国映画

配給: wow cool entertainment / 152 分 (第2話: 約 30 分)

2021 (令和3) 年 5 月 29 日鑑賞

シネ・ヌーヴォ

Data

監督: チェン・スーチェン

出演: ワン・バオチャン / ホアン・  
ボー / トン・リーヤー / ワ  
ン・イェンホイ / ワン・シュ  
ン / ドン・ズージェン / リ  
ウ・ハオラン

## 👁️👁️ みどころ

貴州省の黔南は険しい山に囲まれた田舎村だが、ある日、上空に UFO が出現! そんなマスコミ報道が過熱すると、調査団や観光団が次々と!

こりゃ確実に一儲け! そんな村長や開発業者の思惑と若き発明家の純真な恋心との対比に注目! 彼がさまざまなアイデアで次々と発明品を世に送り出すのは一体何のため? また、彼の作業場はどこにあるの?

ええ? すると、ひょっとしてあの UFO も・・・?

— \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

### ■□■ 貴州は南部の田舎町。険しい山に UFO が! ■□■

私は現在 HSK 4 級の試験に向けて勉強中だが、「過去問」をやっていると、中国各州の特徴をテーマにした問題がよく出てくる。それによると、貴州省は雲南高原の東部にあり、高い山や深い谷が多く平地が少ないエリアらしい。春秋戦国時代 (B.C. 8 ~ B.C. 3) に、ここにあった独立国「夜郎国」の物語は有名だ。また、貴州省にはミャオ族、ブイ族、トン族、スイ族、イ族など少数民族が多く、「少数民族の故郷」と呼ばれている。

私は 2004 年 11 月 28 日 ~ 12 月 5 日に雲南省の黔南旅行に行ったが、貴州省はそのすぐ東側にある省だ。しかし、本作によると、本作の舞台である貴州省の黔南は、険しい山が多いため、その発展が大きく遅れているらしい。

本作冒頭に登場する小さな村の集会の姿は、まるで 1960 ~ 70 年代の中国のようだが、村にある巨大な電波望遠鏡の上空に突如、謎の飛行物体が飛行してきたから、村中は騒動に! 「これは UFO に違いない!」とマスコミが報道したため、瞬く合間に村には UFO 視察ツアー一団があふれ、村は観光客でいっぱい。村を訪れたそんな TV スタッフを、村長、商人、村の発明家が歓迎することになったが・・・。

### ■□■ 第2話の舞台は貴州省の黔南! ■□■

貴州省の省都は貴陽。ガイドブックによると、貴陽は現在発展中の都市で、町のあちこちで高層ビルの工事が行われているらしい。しかし、本作の舞台である貴州省の黔南はかなりの田舎村らしい。

鞏俐（コン・リー）主演の『たまゆらの女（周漁的火车）』（03年）は、雲南省の建水に住む白磁の染付け絵師・周漁（チョウ・ユウ）と四川省の重慶に住む無名の詩人・陳清（チェン・チン）との遠距離恋愛を描く名作だったが、その距離は遠く、恋人と会うためには10時間以上かかったらしい。それに対して、険しい山が多い貴州の黔南では、距離はわずか1キロしか離れていない。ところが、ここでは険しい山のために恋しい男女が会うことは容易ではないらしい。

本作の底流にはそんな悲しくも美しいテーマが流れているから、それにも注目！発明家はそんな事情のため思い出の彼女・董文化（佟麗娅（トン・リーヤ））と会うことも恋することも、そして結婚することもできないらしい。しかし、そんなハンディキャップがあるからこそ、彼の発明意欲はメラメラと燃え盛り、さまざまな有益な発明を次々と！

## ■主人公は？多種多様な登場人物たちは？■

そんな田舎村の黔南だったが、UFO騒動のおかげで土産店にはツアー客がいっぱい。なお、黔南は高さが500mもある世界一巨大な電波望遠鏡が有名で、レストランの名物料理はこの望遠鏡型の鍋に入れて提供されるので、それにも注目！

TVプロデューサー・老唐（王宝强（ワン・バオチェン））がそんな村を訪れたのは、もちろんUFOの真偽を確かめるため。その取材を受け、接待(?)するのは、村長・王守正（王砚辉（ワン・イェンホイ））、村の開発業者・王出奇（王迅（ワン・シュン））、そして、村の若き発明家・黄大宝（黄渤（ホアン・ボー））たちだ。こんな場合、王守正が何を狙うのか、王出奇が何を狙うのかはハッキリしているが、黄大宝は何を目指しているの？

第2話は導入部を見ている限り、ドタバタ喜劇の感が強い。しかし、しばらくすると本作の主人公は黄だとわかってくる。しかし、黄はあくまでも表面に出ず、UFO騒動で沸き返っている村の中で今もひっそり研究に励んでいるだけだから、第2話の展開は読みづらい。多種多様な登場人物たちは曲者ぞろいだが、さて第2話はどうな展開に？

## ■コメディ色が満載！さすがチェン・スーチェン監督！■

中国では、2020年の春節では『僕はチャイナタウンの名探偵3（唐人街探案3）』（21年）が公開され、大ヒットしているらしい。私もオンライン試写で鑑賞したが、同作では日本から妻夫木聡、三浦友和、長澤まさみ等が出演しているから、日本で公開されれば大ヒット間違いなし！

第2話の陳思誠（チェン・スーチェン）監督、主演、ワン・バオチャンらは『僕はチャイナタウンの名探偵3』のスタッフと同じだから、第2話も『僕はチャイナタウンの名探偵3』と同じようなコメディ色が満載！王守正や王出奇の“欲の深さ”はいかに中国

風だが、黄は純真そのもの。だって、彼の発明の根（意欲）はすべて、わずか1キロしか離れていないにもかかわらず、山が険しいためなかなか会うことができない恋人を思う気持ちから生まれているのだから。いずれにしても、彼の発明品はすべてユニーク。その1つは、山道を転がって降りる巨大なボール。なるほど、この中に入れば自分の足で歩かなくても山道を下れそうだが、その副作用は？本作では、さすがチェン・スーチェン監督！そう思えるコメディー色をしっかりと楽しみたい！

## ■□■UFOは本物？それとも・・・？■□■

張藝謀（チャン・イーモウ）監督が製作総指揮を務めた『愛しの故郷』全5話は、すべて詐欺師（まがい）の男を主人公にしたもの。しかし、第2話では、王守正や王出奇はいかにも中国的な儲け主義で、詐欺師色がプンプン匂うものの、黄には詐欺師色は全くない。逆に、董を思う彼の気持ちや、董に会うために一生懸命続けている研究・発明の姿を見ると、彼の誠実さが浮かび上がってくる。

ところが、第2話のラストで明かされる黄の巨大な研究室の内部は如何に？さらに、そのことから明らかにされていく、冒頭に登場した巨大なUFOの実態とは？

2021（令和3）年6月7日記